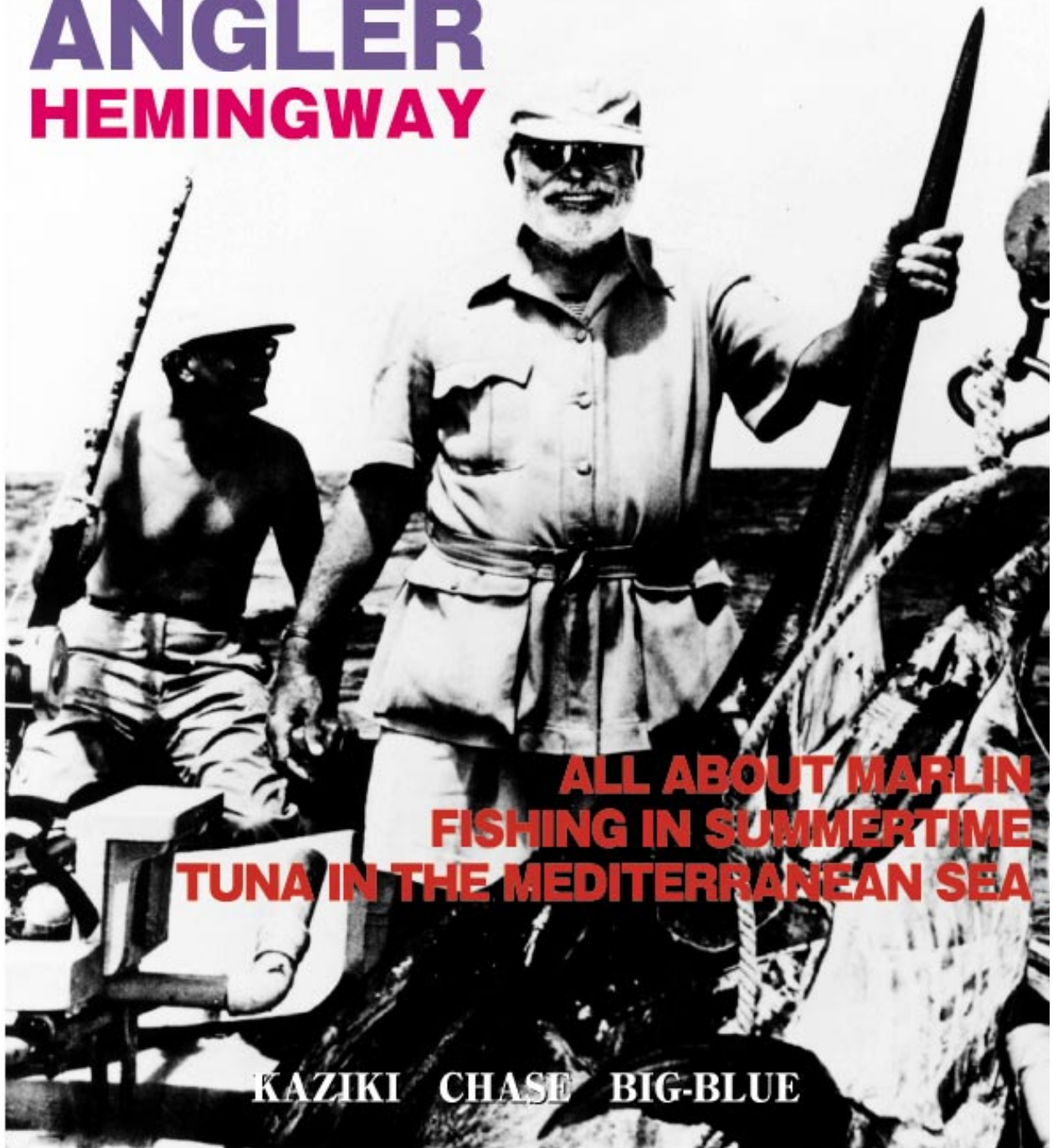


BIGGAME

The Big Game Magazine for lovers of Ocean and Seekers of Active Life.

**WRITER AND
ANGLER
HEMINGWAY**

媒体資料



**ALL ABOUT MARLIN
FISHING IN SUMMERTIME
TUNA IN THE MEDITERRANEAN SEA**

KAZIKI CHASE BIG-BLUE



海とカジキを愛し、人生をアクティブに生きる人々の
日本初のビッグゲーム専門誌

1. はじめに
2. コンセプトと編集内容
3. 展望
4. 判型・発行形態
5. その他

株式会社 八点鐘

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-28-18 アド・ホームズ 401

TEL:03-5807-8080 FAX:03-5807-8084

E-mail : aki@sport-anglers.com

URL : www.sport-anglers.com

1. はじめに

海の大物釣りは、世界の幾つかの場所において頽廃の危機に瀕している。

金を一番ふんだんに持つ者がたっぴりと時間をかけさえすれば、最大の魚を捕える最高の機会にありつけるといふ娯楽に墮しているのだ。その結果、よく知られた大物釣りの競技会などは、あまりにも金がかかるがゆえに一種の社交の場と化し、本来優勝者となるべき、より腕のいい釣り師たちを締め出してしまっている。

海釣りは万人のためのスポーツであって、その全ての部門に面白味がある。グレイ・スナッパー（フエダイ類）から青鮫（マコ・シャーク）に至るまで、スポーツ・フィッシングの対象魚で釣り師に歓びを与えぬ魚はいない。青鮫は歓び以外の何かをも、少し与えはするが…。私の願いはただ、青鮫にしても鮪にしても大マーリンにしてもメカジキにしても、全ての釣り師が、釣ろうと思えば釣れるような状況になって欲しいということだけだ。

アーネスト・ヘミングウェイ 1951年6月
キューバ、サン・フランシスコ・デ・パウラ、フィンカ・ビヒアにて

ビッグゲーム・フィッシングの世界は、マリンスポーツの一翼として多くの憧れと多大なビジネスチャンスの期待をもって語られがちですが、その実情は実に脆弱なものです。同時に、左記のようにヘミングウェイが語った“全ての釣り師が、釣ろうと思えば釣れるような状況”をつくり出すことは私共の理想ではありますが、ことビッグゲームに関しましては、シーバスよりも遥かにハードルが高いことは事実です。

広大な裾野を形成するマニアの頂点に、トップビルフィッシャーが顕在化するという図式は成り立たず、たまさかの経済状況に支えられた『突如参入型』のポートオーナーをケアする過程において、ビッグゲームにまつわる夢や憧れを“後付け”する形で、この世界のニーズが演出されてきたという側面もあります。

しかしながら下田のカジキ釣り大会（JIBT）が世界でも有数のビルフィッシュ・トーナメントに育ち、カジキを釣るためのフィールドに恵まれている我が国において、洗練されたビッグゲームのスピリッツと醍醐味を的確に伝える媒体があれば、さまざまな局面（営業面、政治面）において非常に有効なツールとなります。

私共は、ビッグゲームを通して海面の有効利用、漁港・漁村の活性化につながるさまざまなアプローチを提案・実行します。これは、各都道府県の漁業調整規則の見直しを促し、ビッグゲームの法的環境を整えるための活動でもあります。最終的にこの問題を解決しないことには、我が国における真の意味での、このスポーツの発展は望めないからです。

かつてキップ・ファリントンが、一日に三種のビルフィッシュ（クロカジキ、メカジキ、シロカジキ）を釣ったという豊饒の海は今は望むべくもありませんが、“全ての釣り人が釣ろうと思えば釣れる状況”を少しでも取り戻すために、プロの目とアマチュアの心を持ったビルフィッシャーの輪を広げられればと願っています。

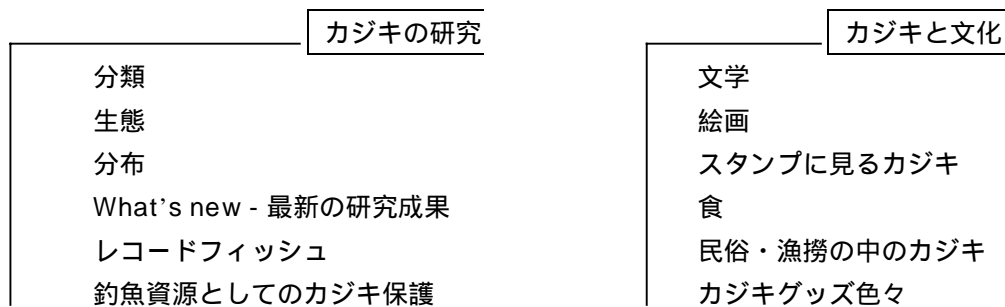
2. コンセプトと編集内容

本誌の基本コンセプトは次の3つに集約されます。

KAZIKI カジキを知る

Future (カジキを巡る環境・生態・保護活動)

最新のリサーチデータを基に、ナショナルジオグラフィック的アプローチとニュートンのデータ処理でビッグゲームと海の関係を探ります。



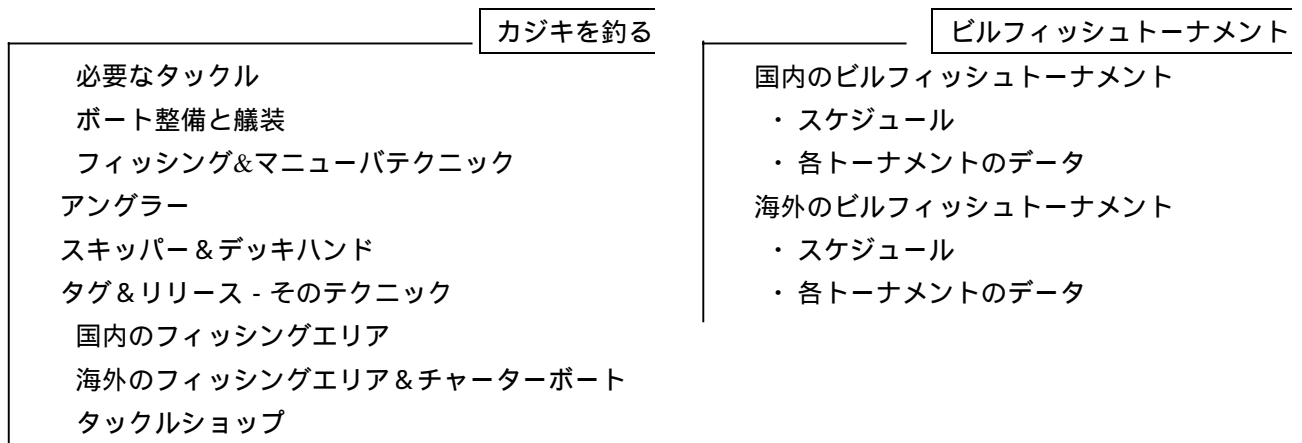
CHASE カジキを釣る

Know How (ノウ・ハウ)

ベシクとなるビッグゲームのノウ・ハウを、スキッパー、アングラー、デッキハンド(リーダーマン、ギャフマン or タグマン)の立場に沿って必要な情報を紹介します。

Field & Fishing Style (フィールド&フィッシング・スタイル)

日本各地のトップチームを紹介します。彼らの主たるフィールド、ボートに対する考え、実践テクニックを併せ紹介することで、日本各地のフィールド紹介とビッグゲームのオルガナイザーを育てます。



BIG-BLUE 海とカジキを想う

Story (ストーリー)

ビッグゲームをより深く理解する上で必要なボート、タックル、人物、ヒストリー、世界各地のフィールドについて紹介します。

Politics (融和・共存・活性化)

ビッグゲームを通して海面の有効利用、漁港・漁村の活性化につながるさまざまなアプローチを提案・実行します。これは、各都道府県の漁業調整規則の見直しを促し、ビッグゲームの法的環境を整えるための活動です。

カジキに魅せられた男達

1. ヘミングウェイ
2. ゼーン・グレイ
3. マイケル・ラーナー
4. 日本では...

カジキネットワーク

1. 人物
2. 文献
3. 団体
 - ・ BOL
 - ・ JGFA
 - ・ IGFA
 - ・ 世界の有カクラブとのネットワーク

3. 展望

雑誌『BIG GAME』は、カジキを主体とする日本初のオピニオン誌です。

「KAZIKI」「CHASE」「BIG-BLUE」をキーワードに、その発行意図は次の3点に集約されます。

国内外の大型回游魚の研究成果を広く紹介する。

カジキを主要テーマに、ビッグゲームに関わる、あるいは関心を持つ人々に必要なあらゆる情報をジャーナリスティックな視点で真摯に捉え、紹介する。

カジキフィールドおよび関連陸域の有効利用の提案およびモデルケースの紹介、実践により臨海地域の活性化とスポーツアングラーターとの共存に寄与する。

カジキやマグロに魅せられてしまった私たちが今、第一にしなければならないことは何か？ その思索の前提として、私たちは日本と世界のビルフィッシャー及び研究者をネットワークすることを活動の第一歩にしたいと考えます。

カジキ・ロード（黒潮）を通して国内の沿岸海域の有効利用を具体化するためには、声高にマリンスポーツやレジャー、リゾート等について語るのではなく、まず全国の関連漁港、漁協、そして漁民に支持される環境作りが重要だと考えます。

リサーチからビルフィッシャーのオピニオンを形成し、現状を活性化する

カジキやマグロの回游を辿りつつ、全国の関連漁港およびその周辺環境についての的確な情報を収集することは、さまざまなアイデアを生む可能性を秘めています。海面の合理的利用の推進という観点から見れば全国の2800を超える指定漁港についてもその有効な活用が問われるところです。プレジャーボートとの共存はフィッシャリーナ整備事業を確実に整えていくための大前提となりますが、漁業と海洋性（親水性）レクリエーションとの住み分けだけにとどまらない、より重層的な活用、交流が望まれるところです。

具体的にはプレジャーボートへのサービスの提供（給油、給水、情報提供等）と、その前提としての航行・係留をめぐるトラブル防止のためのルール確立。各種スポーツのエリア分け、およびスタートベ－スの確保等によって漁港周辺をより活性化し、水面の利用秩序を漁業関係者とレクリエーション関係者相互の積極的な意志疎通によって確立するのです。

そこで“カジキ (KAZIKI)”“カジキを釣る。海に遊ぶ (CHASE)”“海を想う (BIG-BLUE)”といった3つのテーマを核とするオピニオン誌『BIG GAME (ビッグゲーム)』が非常に有効な情報収集の場となる訳です。これまでのフィッシャリーナ構想が十分な成果を収めていないのは、何よりも漁業関係者とレクリエーション関係者のコンセンサスが確立していない土壌で、構想だけが先走りしているからに他ならないのです。リサーチと問題提起を通して相互の水面利用に関する前向きな展望が見えてくれば、さまざまな可能性を具体化することができるのです。

『BIG GAME』を通して現状を活性化するために

カジキ・マグロに関わるさまざまな研究成果および最新データ、人々とのネットワーク作りに参加できます。

ビルフィッシュ・トーナメント等関連漁港および地域の活性化につながるさまざまな情報および活動に参画しやすくなります。

積極参画することにより行政、関連地域内、関係者の間における情報交換が円滑になります。

4. 判型・発行形態

サイズ：A4 判

発行形態

7月に創刊号を発行。
創刊号の総ページ数は80ページ程度を予定。

10月中旬 第2号

12月中旬(予定) 第3号

本年(2006年)度は3号制作

2007年度より、2、4、6、8、10、12月の年間6号を制作予定

5. その他

広告掲載料金

スペース	掲載料金（税別）	原稿サイズ（天地×左右）
表 4	¥ 750,000	297 × 200mm
表 2	¥ 650,000	297 × 207mm
表 3	¥ 600,000	297 × 207mm
目次対向	¥ 600,000	297 × 207mm
カラー 1P	¥ 480,000	297 × 207mm
カラー ヨコ 1/2P	¥ 250,000	130 × 180mm
カラー タテ 1/3P	¥ 140,000	275 × 60mm
カラー ヨコ 1/4P	¥ 130,000	65 × 180mm
モノクロ 1P	¥ 200,000	297 × 207mm
モノクロ ヨコ 1/2P	¥ 110,000	130 × 180mm
モノクロ タテ 1/3P	¥ 90,000	275 × 60mm
モノクロ ヨコ 1/4P	¥ 80,000	65 × 180mm

消費税は別途申し受けます。

スペースオーダーは事故防止の為、必ず文書または FAX にてお申込み下さい。

入稿は完全データでお願い致します。なお入稿校了となりますので予めご了承ください。

弊社で原稿を制作する場合は別途制作料金を申し受けます。